

ウツ  
カ



艦雜第五十四號

八月十日

英國海軍

一千八百九十六年五月九日「アームストロング」号、子グキ、カゼット

英國裝甲海防艦「ブグペスト」号（「モナルク」及「ウチー」号ノ姉妹艦）ハ頃日トリーストニ

於テ進水式ヲ舉ケタリ是等ハ英國海軍ノ新造艦中最モ勢力カアルモノニシテ就

中「ブグペスト」号ハ他ノ姉妹艦ヨリモ多少進歩シタルモノタルヲ知ルヘシ該艦ハ排

水量五千五百五十吨、長さ三百五呎、幅五十五呎、吃水二十一呎、舷側装甲ハ

「ヴェー」製鋼板ヲ以テシテ厚サ一〇六吋、艦尾ニハ延長セズ又重砲塔ニモ同様ノ装

甲保護ヲ施シ装甲板ノ厚サハ二五吋、兵器ハ九四吋砲四門（前後隱砲塔内ニ二

門並列ス）五九吋速射砲六門、一八吋砲十四門、機関砲二門及水雷發射管四門ヨ

リ成リ其他馬力八千五百、速力十七節、載炭量七百吨トス

目下遠洋航海ニ向テポロラ軍港ヲ抜錨ヤント欲スル英國軍艦ニ隻アリ水雷巡洋

艦「パニテル」号（一千五百三十吨、艦長ハツツェル少佐）ハ蘇士運河ヲ經テ錫蘭新嘉坡

紫棍支那及日本ニ赴キ同一ノ航路ニ依テ歸國スヘク又哥倫威形「アルシヅベルヒ」号  
（一千三百七十元）艦長ハ「ヒュウニス」少佐ハ東印度ヨリ喜望峰ニ赴キ大西洋ヲ横  
切テ米國ニ涉リ巴西北部ヨリ西印度諸嶋ニ寄港シ「ジブロール」海峽ヲ經テ歸途  
ニ就クヘキ筈ナリ。墺國海軍ハ斯ル遠洋航海中ニ將校水兵ノ訓練ニ就テ裨益ニ所  
著ク且ツ海外諸國ニ於ケル海軍ノ形勢ノ限ラス貿易ノ實況ヨリ地理制度  
ニ至ルマテ之ニ関スル有用ノ報告少ナカラハ當否者ヨリ發行シタル幾卷ノ航  
海紀事ノ如キハ統計的ノ實際報告常ニ鮮々タラサルハ無ク亦以テ墺國海軍カ  
英國ノ譽ニ倣フテ平時最モ有益ノ役務ヲ遂クル者ト謂フヘキナリ

中米ニカラグア國ヨリ「ニト」ニ於ケル米英艦長ノ義舉

（一千八百九十六年六月五日「タイムズ」週報）

五月十四日附「中米ニカラグア」ノ首府「マナグカ」發通信ニ依レハ叛徒政府ノ大藏大  
臣ハ倫敦銀行「レオン」支店ヲ脅迫シテ八萬弗ノ貸付ヲ要求セリニ支店長ハ「  
「ダング」氏ハ竊ニ「ニラ」ヲ「コリント」駐泊ノ米國軍艦「アル」ト号（當時同港ニ泊ヤル唯

一、軍艦艦長ハニフオールド少佐ニ通シ少佐ハ快ク支那政府市民ノ財産ヲ保護シテ  
兵カヲ以テ横奪スルヲ防クヘキ旨ヲ諾セリ

四月十六日右大臣ハコリントニ來リ重ニ外國人ニ屬スル商品ヲ取立テレオンニ送致  
セント圖リレシテ艦長及英國軍艦「コロニス」号（其後間モ無ク着港シタルモノ）ノ艦  
長ハ之ヲ拒テ聽カカリシカバ叛徒一行ノ首領株ハ遁レルモ烏合ノ兵卒居残りテ  
暴飲狼藉シ或ハ婦女ヲ犯シ税関ヲ襲ヒト欲ヤリ是ニ於テ税関長ハ合衆國領事  
代理ヲ經テ軍艦ニ保護ヲ請ヒレニ五月二日米英兩軍艦ノ海兵百人許コリントヲ  
包圍シテ暴徒ヲ解散セシメ三日間駐屯シテ税関ニ於ケル外國人ノ財産及鐵道停  
車場等ヲ保護セリ

其後ノチダ將軍ホンダユラス兵八十人ヲ率テ來テ税関ノ引渡ヲ要求セシガ大統領  
セラヤズノ命令ヲ待テ之ヲ引渡スヘシト答ヘシモ肯ヤス直ニコリントヲ占領スヘキ悲  
怖手段ヲ施シタリシカバ兩艦長ハ深ク之カ非理ノ行為ヲ憤リ海兵ニ歸艦ノ用  
意ヲ為サレノ且ツ兩艦トモ戦闘準備ニ取懸ラレノタルニ驚キ將軍俄ニ之ヲ謝シテ

退陣セリ

ホシヂユラス兵ノ暴行ヲ制抑シタル米英兩艦長ノ處置ハ其當ヲ得タルモノナルハ誰  
人モ疑ヲ容レサル所ナルヘシ大統領ハマナグアニ於ケル米國公使館ニ電報ヲ發シテ  
厚意ヲ鳴謝シ且ツ兩艦長ニマナグアニ遊ハレシヨヲ勸誘セリ

0398